

2024年9月3日



# 『朝礼時講話～報告事項』

## (1) 講話概略【元職員、T.Iさんを偲んで】

今日は、先月急逝された元職員、T.Iさんを偲ぶ内容とさせていただきます。まずは、Tさんを偲び、黙とうを捧げたいと思います。《黙とう》 お直りください。ありがとうございました。

Tさんは、平成20年6月から令和元年6月までの11年間、常勤の看護師として光寿苑を支えて下さいました。いつも明るくて、おとぼけキャラで皆を笑わせてくれたり、ホッコリさせてくれる人柄でした。一度、光寿苑を離れてから、令和4年3月からの約1年間、時間パートとして支えてくれました。コロナクラスターの最中、共に奮闘してくれた姿が、強く記憶に刻まれています。

少し、別の話題となるのですが、他所の高齢者施設の関係者から聞こえてくる内容として、『看護と介護の壁』という声を耳にすることがよくあります。予め申し上げておきますが、光寿会に所属する看護師さんたちは、今からお話しするような人は過去も現在もおりませんので、そこは押さえておきます。話を戻しますと、勿論、資格の違いがある事ではありますが、その多くは、大きな医療機関から転職してきた看護師さんたちが、施設の介護職員を下に見る傾向が強く、行動も言動も、壁や溝を築いてしまうものが多いのだそうで、そうなってくると、職場が不穏になったり、チームワークによるお年寄りのケアには足かせになってしまうという内容であります。

Tさんは、そういう垣根を築いてしまうタイプとは無縁の看護師さんの1人でした。

『オレ、おっちょこちよいだがらよお～。』

『バガだったなあ、オレ！オレ、救いようねったな、苑長、どうしましょ、アハハハハッ。』

と言っては、一緒に笑った日の情景が思い出されてきます。そして、必ず、

『間違っている事もあると思うがら、何とか皆さん、今日は助けて下さい（笑）。』

と頭を下げて仰る人でありました。愛されるそのお人柄は、職種の垣根を築く事をさせなかった大きな要素だったなあと振り返っています。そして、Tさんのあの和やかな空気が、今も光寿苑の中に生きてると私は感じております。Tさんを偲びつつ、今日も力を合わせて参りましょう。

## (2) 連絡事項

【講話+①～⑥ 理事長】

- ① 行事予定です。中止となった盆踊りの代替行事として、遅れてきた盆太鼓が苑内を練り歩く企画で、9月12日の午後帯を予定しております。また、9月18日の15時から敬老式典を催す予定です。昨年度と同じく、式典と舞台の日取りを分けます。舞台は10月に予定します。また、盆踊りで準備しておりました抽選会景品ですが、敬老式典で交流ホームに皆さん集っている時を活かしまして、式典後、異例ではありますが、抽選会を開催予定です。また、職員の皆さんに飲み物お菓子セットを差し上げます。名前を書いてお持ち帰り下さい。
- ② お盆のおみがき(御仏具磨き)がコロナ対応によりできておりません。秋彼岸に向けて、事務職員により取り組みたいと思います。
- ③ 今年も介護の魅力を伝える劇を町内小学校と西和賀高校において実施します。介護からTさん、調理からHさんが出てくれます。早速、今月取り組み予定です。
- ④ 現場職員の中で、普段から有給も中々取れず、コロナ対応などでも時間外で奮闘してくれた職員を優先して、『リフレッシュ休暇』制度実施を検討しています。苑長が該当者本人と直属の上司職員と相談の上、下半期に「3日間のリフレッシュ休暇」をとれるようにします。該当者職員がリフレッシュ休暇に入る際には、他の職員でフォローして、休暇を確保できるようにしたいと考えておりますので、宜しく願います。
- ⑤ 包布交換のお手伝いとして、今月からO家より入ります。短い時間の対応となりますが、宜しくお願い致します。また、介護の経験をさせて頂きたく、O家の三女も数日間ではありますが、夏休み期間を利用して入らせて下さい。9月11日より、湯の町にお世話になります。
- ⑥ 最後はTさん。特定技能労働者として来日から1年が過ぎましたが、先日、N3(日本語能力試験)の試験に見事合格されました。おめでとうございます。過去の外国人の方々も、このN3の壁が超えられませんでしたから、来日僅か1年での合格がいかにもすごい事か。些少ではありますが、お祝い申し上げます。これからも、宜しくお願い致します。